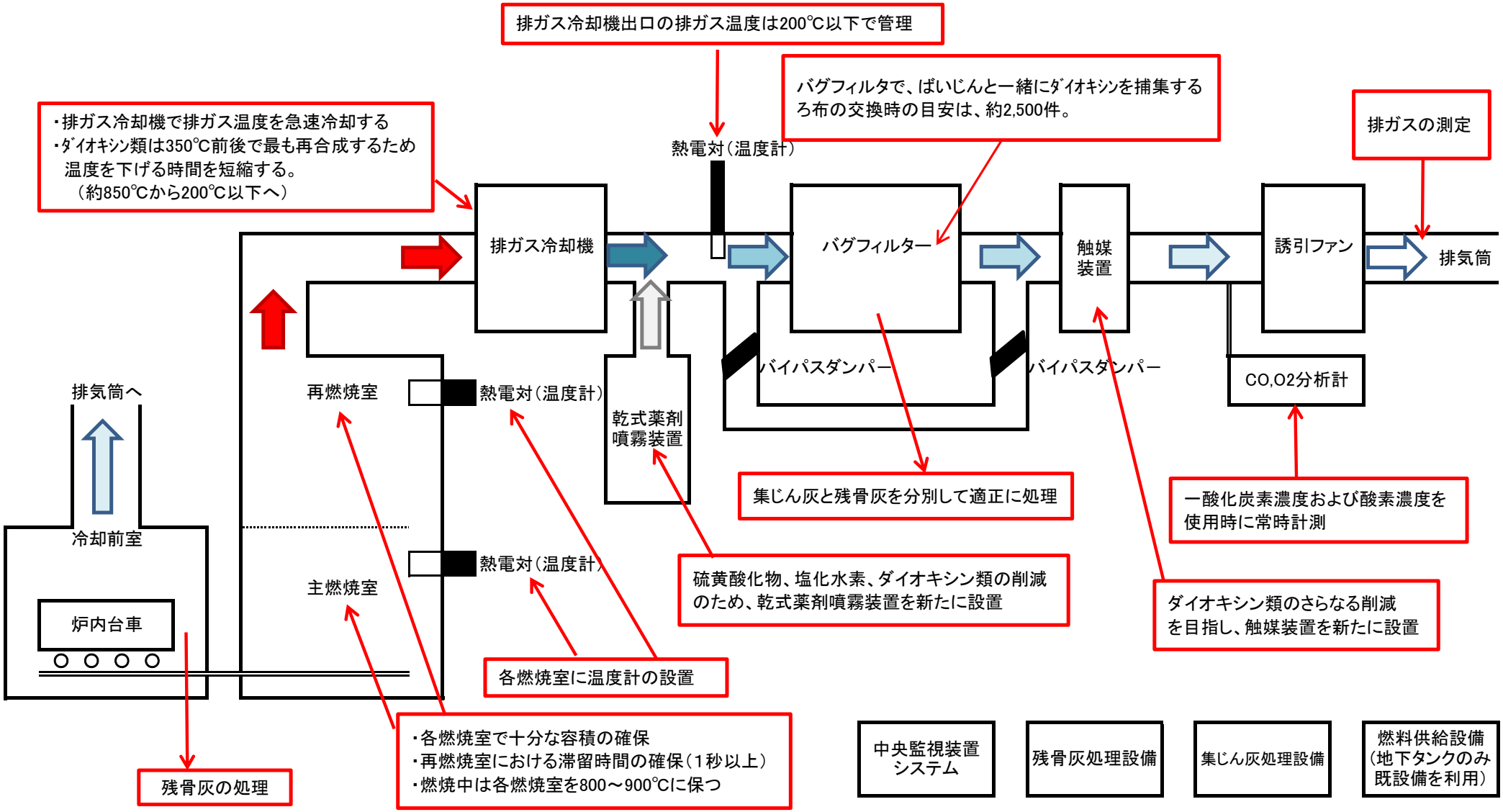
火葬炉の構造（概略図）


排ガス冷却機出口の排ガス温度は200℃以下で管理
バグフィルタで、ばいじんと一緒にﾀﾞｲｵｷｼﾝを捕集するろ布の交換時の目安は、約2,500件。
排ガスの測定
・排ガス冷却機で排ガス温度を急速冷却する
・ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は350℃前後で最も再合成するため温度を下げる時間を短縮する。
（約850℃から200℃以下へ）
熱電対（温度計）
排ガス冷却機
バグフィルター
触媒装置
誘引ファン
排気筒
バイパスダンパー
バイパスダンパー
CO,O2分析計
排気筒へ
再燃焼室
熱電対（温度計）
乾式薬剤噴霧装置
集じん灰と残骨灰を分別して適正に処理
一酸化炭素濃度および酸素濃度を使用時に常時計測
冷却前室
熱電対（温度計）
主燃焼室
硫黄酸化物、塩化水素、ダイオキシン類の削減のため、乾式薬剤噴霧装置を新たに設置
ダイオキシン類のさらなる削減を目指し、触媒装置を新たに設置
炉内台車
各燃焼室に温度計の設置
・各燃焼室で十分な容積の確保
・再燃焼室における滞留時間の確保（1秒以上）
・燃焼中は各燃焼室を800～900℃に保つ
残骨灰の処理
中央監視装置システム
残骨灰処理設備
集じん灰処理設備
燃料供給設備（地下タンクのみ既設備を利用）